

平成21年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 3 2 6 9 2 2. 研究機関名 東京工科大学

3. 研究種目名 基盤研究(B) 4. 研究期間 平成21年度～平成24年度

5. 課題番号 2 1 3 0 0 3 1 6

6. 研究課題名 博物館における鑑賞と鑑賞支援における社会的・工学的ヒューマンインタフェース研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 3 2 5 8 9 6	フリガナ ヤマザキ アキコ 山崎 晶子	メディア学部	准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
1 0 2 5 2 5 9 5	フリガナ クノ ヨシノリ 久野 義徳	埼玉大学・理工学研究科	教授
2 0 4 6 6 6 9 2	フリガナ コバヤシ ヨシノリ 小林 貴訓	埼玉大学・理工学研究科	助教
8 0 1 9 1 2 6 1	フリガナ ヤマザキ ケイイチ 山崎 敬一	埼玉大学・教養学部	教授
	フリガナ		
	フリガナ		

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本年度行った研究は、解説者と鑑賞者の相互行為のエスノメソロジー及び相互行為分析を通じて、説明を行う際の身体的行為と言語的行為の関わりを明らかにし、また特に研究支援としては、観客をひきつけるロボットの研究を行うことができた。

全ての論文が査読付きであり、特にミュージアムにおける鑑賞の分析とそれに基づく鑑賞支援の研究は、Computer Human Interfaceに3年連続して採択された。

大原美術館にロボットを持ち込み、観客の鑑賞支援を行うという試みは、多くの観客を惹きつけたため、実際の環境における観客と説明を行うロボットの相互行為の研究を行うことができた。

また、ヒューマンインタラクションの研究としては、コミュニケーション研究の最高峰であるJournal of Pragmaticsのコンピュータヒューマンインタラクションの特別号に選ばれさらに採択された。

本年度は、美術系のミュージアムのみならず、歴史・科学系のミュージアムでの鑑賞者と解説者の関わりを研究することができ、その相互行為のありかたの一端を解明したと思われる。

また、フレンドリーなロボットという鑑賞支援における目的が、研究の上でも、また業績の上でも可能であった。また、これらの研究が、情報系及びコミュニケーション系で最も権威のある学会や雑誌に採択された研究成果として実りの多い年であった。

10. キーワード

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| (1) 社会学 | (2) 教育工学 | (3) ヒューマンインタフェース |
| (4) エスノメソロジー | (5) 相互行為分析 | (6) 鑑賞支援 |
| (7) ミュージアム | (8) 会話分析 | (裏面に続く) |

11.研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（3）件 うち査読付論文 計（3）件

著者名	論文標 題			
星洋輔, 小林貴訓, 久野義徳, 岡田真依, 山崎敬一, 山崎晶子	観客を話に引き込むミュージアムガイドロボット：言葉と身体的行動の連携			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
電子情報通信学会論文誌	有	92-A(11)	2009	764-772

著者名	論文標 題			
K, Yamazaki, A, Yamazaki, M, Okada, Y, Kuno, Y, Kobayashi, Y, Hoshi, K, Pitsch, P, Luff, D, Lehn, C, Heath.	Revealing Gauguin: Engaging Visitors in Robot Guide's Explanation in an Art Museum			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Computer-Human Interaction	有	—	2009	1437-1446

著者名	論文標 題			
.A, Yamazaki, K, Yamazaki, M, Burdelski, Y, Kuno, M, Fukushima	Coordination of verbal and non-verbal actions in human-robot interaction at museums and exhibitions			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Journal of Pragmatics Special issue of Computer-Human Interaction	有		2010	Forthcoming (電子ジャーナルでは既に出版)

〔学会発表〕 計（2）件 うち招待講演 計（0）件

発表者名	発表標 題	
Yoshinori Kobayashi, Yoshinori Kuno, Hitoshi Niwa, Naonori Akiya, Mai Okada, Keiichi Yamazaki, Akiko Yamazaki	Assisted-care robot initiation communication in multiparty settings	
学会等名	発表年月日	発表場所
CHI2009 Extended Abstracts	2009年4月7日	ボストン (アメリカ合衆国)

発表者名	発表標 題	
Yoshinori Kobayashi, Takashi Shibata, Yosuke Hoshi, Yoshinori Kuno, Mai Okada, Keiichi Yamazaki, Akiko Yamazaki	Head tracking and gesture recognition in museum guide robots for multiparty settings	
学会等名	発表年月日	発表場所
ECSCW2009 (European Conference on Computer Supported Cooperative Work)	2009年9月10日	ウィーン (オーストリア)

【図 書】 計 (0) 件

著 者 名	出 版 社		
書 名	発 行 年	総ページ数	
	■ ■ ■		

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出 願】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取 得】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関する w e b ページがある場合は、URLを記載すること。

--